

7 ワムタウン広場

WAM Town Open Space !



発行 一般社団法人ワムタウン推進本部
〒359-1131 埼玉県所沢市大字久米 554 番地 2
TEL 04-2941-3640 FAX 04-2941-3641
http://www.wam-town.jp/ E-mail:koho@tl-wam.or.jp

協力 医療法人啓仁会
医療法人昭仁会
社会福祉法人栄光会

第126号 2021年/令和3年7月1日(木)

新任のご挨拶

医療法人昭仁会 介護老人保健施設 四季の里 (埼玉県新座市) 施設長 柿原 稔



施設長 柿原 稔

令和3年6月1日より前任の関公一先生の後任として新施設長に着任いたしました柿原稔です。私は四季の里の地元新座に在住しております。このご縁を大切にして四季の里にて介護の仕事に尽力したいと考えております。当施設を笑顔でご利用いただけるよう頑張りますので、今後とも是非四季の里をよろしく願いいたします。



ご利用者に愛されるデイサービスを目指して

社会福祉法人栄光会 デイサービスセンター なかとみロイヤルの園 (埼玉県所沢市) センター長兼生活相談員 清水 有

デイサービスセンターなかとみロイヤルの園では『ご利用者に愛されるデイサービス』を目指して日々さまざまな取り組みを行っております。内容としては、楽しみを持って過ごしていただくことを目的としたレクリエーション活動と、イスに座ったままでも無理なく行える様々な体操プログラムを用意しております。

レクリエーション活動では人気の書道を中心に、生け花・フラワーアレンジメント、絵手紙そして造形活動を実施しております。書道は書家の先生の指導の下、毎週水曜日と第3火曜日の午後に行っております。皆さんとても熱心に取り組まれています。生け花・フラワーアレンジメントと絵手紙は、それぞれ月に2回ずつ実施。生けたお花は退園時に持ち帰っていただくので大変好評です。絵手紙では職員が先生となってご利用者と和やかな雰囲気なかで行っております。また造形活動は、施設の大きなガラス窓や室内の掲示板に展示する作品作りをしております。特にガラス面をキャンバスにした作品は、通

りを行き交う近隣の方々にも見ていただいています。

ご利用者の皆さんにはレクリエーション活動と一緒に体操プログラムにも積極的に参加をいただいております。午前はビデオやテレビ画像を使っての体操と指先を動かす脳トレ体操。昼食前には誤嚥を防止するための口腔体操、そして午後のレクリエーションの前にタオルや棒を使った体操と、ほぼ毎日行っております。これとは別に、スポーツクラブのインストラクターの方に月に2回お越しいただき、イスで行う体操を実施しております。レクリエーション活動にしても体操プログラムにしても、皆さんが楽しみながらも真剣に取り組まれている表情がとても印象に残ります。コロナ禍で鬱々とした毎日、皆さんには



ご自宅でも楽しんでください

アクリル板に囲まれ、マスクの息苦しさの中、ご不便をおかけしておりますが、少しでも楽しく過ごしていただけるよう、職員一同、知恵を絞って努力していきたく思います。



手芸の時間でのマスク作り



大きく腕を伸ばしてください

花たちからのささやかなプレゼント

医療法人啓仁会 豊川さくら病院 (愛知県豊川市) リハビリテーション室長 長瀬 雅文

豊川さくら病院リハビリテーション棟の前庭花壇には、患者様と職員と一緒に種をまいて育てた小さな可愛い花がたくさん咲いており、多くの蜜蜂も寄ってきます。天気の良い日にはベンチに腰掛け、その様子を眺めるのはつかの間の癒しになっています。先日は通りすがりのひとに“きれいなお花ですね”と声をかけられ、そこから会話に発展したこともありました。

園芸活動には、「座る、立つの繰り返し」「たがやす」「種をまく」「水をまく」「草をとる」など多くの動作が必要となります。そのため活動性が引き出され、運動の促進に繋がり、身体的な効果として運動機能や体力の増進が期待できます。また、花が咲き、野菜が実るまでには育つ過程を見守るという「楽しみ」を持つことができるうえ、丹精込めて育てた花が咲いた時の「満足感」「充実感」を味わうこともできるため、精神面にも良い影響があるとされています。

当院のリハビリテーションでは、春には花を、夏には野菜を患者様と職員と一緒に育てており、そろそろゴーヤも実をつけはじめ8月には収穫できることを楽しみにしています。

小さな花壇ですが、屋外で園芸を行うことにより、土に触れた時の懐かしい感触や水

の冷たさ、風の爽やかさ、季節ごとに変わる日差しなど、四季の変化を肌で感じ取ることもでき、屋内では味わうことができない感覚は、気持ちのリフレッシュにも繋がると思われます。

このような環境下での活動では、患者様同士、患者様と職員による1つの趣味的な要素からいろいろな発展性を持った会話も自ずと弾み、

“過去に山登りをした際に観た花のこと”

“お友達から花をいただいたこと”

“以前に自宅で花を育てていたこと”

などの思い出や、

“退院したら花を育ててみようかな”

といった言葉も聞かれ、改めて過去を思い起こされたり、退院後の余暇活動を見つけられたりといった前向きなコミュニケーションが増えているように感じます。また、日頃はあまり意識することのない道行くひととの何気ない会話も、花というワードがあったからこそ生まれたコミュニケーションだと思いました。

この1年強を振り返るとコロナ禍による影響で、止む無く入院患者様へのご家族の面会も制限させていただいたり、医療的サービス



癒しのひととき

の提供も何らかの制限を受けてしまうなど、患者様とその家族の方々、ならびに職員たちもかなりのストレスと窮屈さを抱き続けています。また患者様同士、患者様と職員、職員同士のコミュニケーションも減少しており、今後への不安も大きくなるばかりです。今、私たちができることはほんの小さなことしかありません。リハビリテーションを通じて可能な範囲で自然の風を感じたり、季節感を味わっていただけるような内容を付加することで、退院後の趣味活動など日常に彩りを添えられるサービスの提供に努めていきたいと思えばかりです。



蜜を求めて蜂も



ちいさな花壇



きれいに咲きましたね



鮮やかなオレンジのカリフォルニアポピー

デイケア壁画作品のご紹介

医療法人啓仁会 介護老人保健施設 所沢ロイヤルの丘 (埼玉県所沢市) 事務課 黒米 聡

当施設のデイケアにて作成されました壁画作品をご紹介します。毎回デイケアスタッフが試行錯誤を重ねて、利用者様と一緒に作成したものです。過去には雑誌掲載やアイデア賞を受賞した事のあるデイケアの壁画作品は、力が入った大作ばかりです。2ヶ月毎に壁画作品が展示されるたびに足を止めて見入ってしまい、毎回楽しみです。

3月制作の『しだれ桜』は、いくつかの部分に本物の枝を使用して立体感を出しています。左上に書かれている「春のよい」の文字は利用者様に筆で書いて頂きました。本物の桜を連想させる春らしいとても素敵

な作品です。

5月制作の『雨が似合う花』はフェルトを細かく1つ1つを巻いて紫陽花の花を連想さ

れる作品です。フェルトを使う事でフェルトの柔らかい感じと丸く膨らんだような立体感が生まれた作品です(現在展示中)。



3月制作『しだれ桜』



5月制作『雨が似合う花』

院内感染対策下のリハビリテーション ～さらなる質向上への取り組み～

医療法人啓仁会 吉祥寺南病院（東京都武蔵野市）リハビリテーション室 主任 中藤 翔夢

令和3年3月、吉祥寺南病院リハビリテーション室では「さらなる質向上」を目指し様々な評価機器、訓練機械を導入しています。病棟や病室内での療法士の活動を支援することが目的です。

リハビリテーション室内の密集を避けるため、患者様の居室周囲やベッドサイドで訓練する機会がとて多くなって1年以上が経ちました。限られた環境の中で療法士達は工夫を凝らして治療プログラムを立案していますが、どうしても簡素な練習になってしまいます。リハビリ室だったら、「今日はちょっと調子が良いから平行棒で立ってみよう…でも上手くできるから心配だから先輩に見てもらおう…」などと、その時の患者様の体調に応じて訓練内容の上方修正が容易でした。しかし現在、スタッフは各病室に散らばっており容易に助けを呼べない状況です。他のスタッフの助けを得るには、まずスケジュール調整が必要です。勿論、お互いにサポートし合えるようにチーム単位で近くにいる工夫はしていますが、あくまでカーテンや壁越しの関係であって、お互いの状況を目視し合っている訳ではありません。その為、前述のちょっと調子が良いから…というようなプログラム展開は容易には出来ません。どちらかという、「何かあったら対処しきれないから、まだ出来そうだけどここまでにしておこう…」と下方修正のメカニズムがどうしても働き弱くなってしまいます。

今後に向けて何か新しい手を打っていきたいと考えていたところ、多くの方のご協力を頂き機器導入を進めることができました。

1人や少数でも安全に患者様の起立練習や歩行練習が出来るように…、患者様の身体機能の変化を客観的に把握できるように…、安全性や正確性は勿論ですが機動力と簡易操作性に優れた定番製品や新製品を導入しています。今回それらの一部を紹介させて頂きます。



◀ 手動式の簡易起立台です。起立性低血圧や失神の原因調査に用いられることが多いですが、当院では病棟内での早期訓練に用いています。転倒・転落の不安が大幅に減るので、若い

療法士が患者様の状態観察により注意深く実施できるようになりました。



▲ 体圧分散センサーで示される圧力分布を確認しながら効果的な除圧体位、安楽姿勢を探しています。

今回は比較的最近発売された、病棟で使いやすいサイズ（半身版）を導入しました。



▲ 体成分分析が仰臥位でも出来るようになったことで、はるかに多くの方の骨格筋や水分量のデータを得られるようになりました。薬物療法・栄養療法の状況把握や運動療法の負荷設定、筋量増大の効果判定の基本測定項目として定着することを目指しています。



◀ 歩行訓練は療法士の体格や習熟の違いによって“訓練の質”に差が生じる代表的な種目です。質の向上や標準化の試みの1つとして、免荷式歩行器を導入しました。

双方の安全を確保した上で、療法士には評価や患者様の身体操作に集中してもらおうと考えています。



◀ 歩行評価には動画がとても有効ですが、使用機器や撮影角度など撮影手法の統一化がいつも大きな課題です。

三脚を用いた定点撮影の記録では移動する患者様の全身を十分に観察し続けることが出来ず、また病棟廊下に設置する訳にもいきません。



そこでキャスター付きの動画撮影、編集システムを導入、病棟でも気軽に質の良い歩行動画が記録できるようにしています。

まだまだ使用方法の習熟を進める必要がありますが、導入された機器を用いながら臨床現場でも自分たちが出来る研究活動も進め、内部研修会や学会発表などで成果を報告していきたいと考えています。

熱海高校キャリアカフェに初参加

医療法人啓仁会 介護老人保健施設 いとうの杜（静岡県伊東市）事務部採用担当 高久 彩

新卒高校生獲得のため、年間通して近隣高校へ営業に伺っておりますが、そんな中、熱海高校の先生から嬉しいお話を頂きました。



介護主任のサポートを受け、緊張しながらも質問に真剣に答えていました

熱海高校主催の「令和3年度 キャリアカフェ」へのご招待でした。6月4日、卒業生と介護主任を連れて参加して参りました。

この「キャリアカフェ」は、本格的な就職、進学への活動開始を控えた時期に、「働くということとは？」「どのような職場があるのだろうか？」「自分に合った職業を探すには？」「魅力ある企業を見つけよう」といったことを目的に、企業の社員と生徒とが座談会形式で気軽

に話し合います。

いとうの杜からは、3月に熱海高校を卒業したばかりの職員が介護主任にフォローしてもらいながら、高校生からの質問に親身に答えていました。卒業生である職員にとって、お世話になった母校及び先生方へ少なからず恩返しのできたのではないのでしょうか。今後もこの卒業生の活躍を、先生方へ随時ご報告していければと思います。そして、先生から渡されたバトンを落とすことなく、卒業生が一人前の社会人となるよう職員みんなできりとサポートに努めて参ります。

脳ドックと健康診断

医療法人啓仁会 石巻ロイヤル病院 (宮城県石巻市) 健診センター係長 遠野 ゆみ

昨年の8月からMRI装置が稼働し、患者さんの検査を行ってきましたが、このたび脳ドックを開始することになりました。これまでの健康診断では脳の病気を見つけることは難しかったため、新たな一歩を踏み出せたと思います。

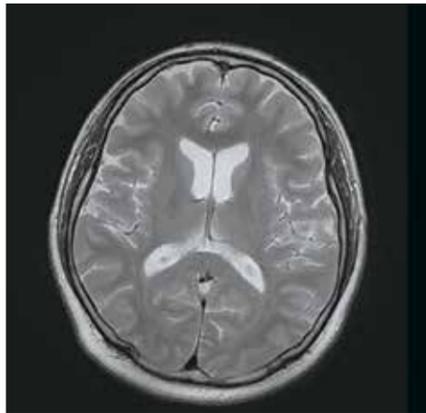
令和元年度の人口動態調査での死因の第四位は男女とも脳血管疾患でした。それ以前の調査でもほぼ同じ順位になっています。脳ドックを利用し、病気が見つければ、重症化する前に専門の医療機関を受診することが可能です。

脳ドックはどのような人が検査すべきか調べてみますと、血圧やコレステロールの高い方、糖尿病の方などとなっています。これらは全て生活習慣病であることに気がきます。脳ドックで問題ないとの結果でも、健康診断で生活習慣病の疑いがある場合には、自身の

これまでの生活習慣を振り返り、見直しが必要となってきます。

今は情報が豊富で自分自身で気を付けて改善していくことも可能と思われませんが、インターネットなどの情報には誤った情報もありますので、直接、医師や保健師、管

理栄養士などの専門職のアドバイスを傾け実行することが、将来起こりうる病気の予防策と思われます。



MRI 脳画像



MRI 装置 (石巻 LH)

『ロイヤルカフェ』開店

社会福祉法人栄光会 特別養護老人ホーム かわぐちロイヤルの園 (埼玉県川口市) 管理課主任 野村 祐基

5月26日に新しいカフェがオープンするという噂を聞きつけ、さっそく潜入取材してきましたのでその様子をお知らせします。

かわぐちロイヤルの園4階バルコニーでひっそりオープンしたそのカフェを訪れると、まず「それっほい」BGMとドリップしたてのコーヒーの香りが出迎えてくれました。「なかなか、本格的にやっているじゃないか」と謎に上から目線で評価しつつ、店員さんにご挨拶。感染対策の検温と手指消毒をきちんとしてから説明を受けると、なんでも飲み物と軽食を選んでから席に着き、景色と共に楽しむという方式を採用しているそう。

メニューを見て「えっ、こんなにドリンク種類あるの？ちょっと職員大変じゃない？」と素に戻りつつ、順番を待っているお客様とお話させていただきました。オシャレにまとまったお菓子がどれもこれも美味しそうに見える、何を選ぶか迷ってしまっているという

方の嬉しそうな表情が印象に残ります。オーダーを済ませテーブルに移動すると、開けた視界と心地よい風が解放感を演出。小高い丘に造られた建物の最上階ということで見晴らしの良さは申し分ありません。昨今なんとなく感じている窮屈さがここには無く、良い意味で肩の力が抜けたような気がします。ドリンクを飲み終えた皆さまの話題が『天国』になるほどの極楽っぷりに、カフェの大成功を実感しました。店員さん達も給仕の忙しさやこの後の片付けが大変だとほやく割にはニコニコ、かつ、どこか誇らしげ。自然と「次は暑くなる時期だから場所はこっこの日陰にしよう」とか「席はちょっと少なくなっちゃうかなあ」などと次の開催について話がどこからともなく出てきます。『招く側が楽しんでいないと、招かれる側も楽しめない』ということを実感する良い見本になったのではないのでしょうか。

かわぐちロイヤルの園が目指す『特養らしさ』が濃縮された『ロイヤルカフェ』、ご入居者の嗜好と携わる職員の想いをブレンドした今回は、どのような味わいと香りを楽しませてくれるのでしょうか。店長の手腕に乞う、ご期待！



この見晴らしも美味しさのひとつ



飲み物いろいろありますよ



お待たせしました！



入店前の手指消毒



どれも美味しそうで迷います